

築山遺跡3区 市民現地説明会 資料

平成19年3月4日(日)

出雲市役所 文化財課

はじめに

出雲市文化財課は、島根県出雲県土整備事務所が計画する今市古志線街路事業等にもない、平成15年度から築山遺跡の発掘調査を実施しています。今回は、昨年11月から本格的に調査を行ってきた、築山遺跡3区(東西70m×南北10m)の現地説明会を開催し、皆様に調査成果をご覧いただきたく思います。なお、調査にあたってご理解・ご協力いただきました地元の皆様をはじめ、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

位置と環境

築山遺跡は、神戸川右岸にせり出す丘陵によって形成される大井谷付近に位置しています。この大井谷は、神戸川によって運ばれた約3600年前の三瓶山火山灰によって、ほぼ現在の地表面まで埋められたと考えられます。以後、人々がここを生活の場として活用したことから、周辺には史跡上塩冶築山古墳(以下、築山古墳という)、上塩冶横穴墓群、角田遺跡など様々な遺跡が密集しています。このように、築山遺跡周辺は古代から人々の暮らしと密接に関わってきた地域であり、出雲平野の遺跡を考えるうえでも重要な地域と言えます。



調査地位置図